

## 第3部 パネルディスカッション

### テーマ 哲人山田方谷を語る

大災害や世界的な金融・経済危機による世情不安等で混迷を深め、閉塞感が漂う現代日本で、激動の幕末から明治初期にかけて活躍した山田方谷の思想や改革手法等を学ぼうとする動きが全国的に広まりつつあります。

山田方谷は、陽明学者、漢学者、漢詩人、財政家、理財家、政治家、教育者など、多くの顔を持っていますが「哲人」と呼ぶのがふさわしいと言う人がいます。

この方谷の人間形成はどのように行われ、改革のため何をしたのか、また、方谷の本当にすごいところはどこなのか、彼の思想や行った改革をエピソードも交えながら、楽しく語っていきたいと思っています。

#### コーディネーター 渡辺道夫（わたなべ みちお）氏 略歴



1948年生まれ。

1997年に同好の士とつくった「山田方谷に学ぶ会」の代表世話人。「方谷さんを広める会」応援連絡会世話人。元県立美術館副館長。学ぶ会は、「方谷カレンダー」の作成・配布や、講演会、講座等の講師、方谷関連書籍の出版など、関係団体と連携し、方谷の顕彰活動を行っている。

著書に『入門 山田方谷』（共編著、明德出版社）

『山田方谷のことば』（共編著、登龍館）など

#### パネラー 田中里味（たなか さとみ）氏 略歴



神戸市出身

株式会社ジュエリータナカ 常務取締役

岡山倫理法人会 専任幹事

岡山商工会議所女性会 理事

「方谷さんを広める会」応援連絡会 世話人

ブリリアントの会 代表世話人

平成14年 高梁市での勉強会ははじめ、大佐町、東京ホテルニューオオタニ、その他でのシンポジウムなど主催、参加

パネラー 網本善光（あみもと よしみつ）氏 略歴



1960年、笠岡市生まれ。山田方谷に学ぶ会・日本考古学協会・創元推理倶楽部などに所属。

笠岡市を中心に、備中エリアの歴史や文化の情報発信に努めている。また、金田一耕助のファンとして、コスプレ姿でイベントにも参加。主な執筆として『入門山田方谷』、『岡山ぶらりスケッチ紀行』などがある。

パネラー 加古一朗（かこ いちろう）氏 略歴



昭和45年（1970）生まれ。

平成6年（1994）4月、高梁市教育委員会に勤務。平成9年（1997）より高梁市歴史美術館学芸員として勤務し、展覧会事業などに従事。平成22年度企画展「山田方谷とゆかりの人物展」、特別展「近世の私塾と教育」、平成23年度企画展「備中松山の人々～山田方谷と備中松山藩士」、特別展「高梁の仏画―涅槃図を中心に」などの展覧会を担当。

共編に山田方谷に学ぶ会編『入門山田方谷』明徳出版社、太田健一編『図説高梁・新見・真庭の歴史』郷土出版社 などがある。

## 田中里味（たなか さとみ）氏

人間山田方谷

- ・教育など
- ・方谷さんの逸話

山田方谷の「気」について

「方谷さんを広める会」応援連絡会の動きについて  
各地 各人の方谷さんに関する話題  
櫻井よしこさん講演より

## 網本善光（あみもと よしみつ）氏

山田方谷は、陽明学者としての顔を持ちながらも、藩政改革ひいては幕末の改革に影響を及ぼした政治家の顔もあわせもちます。私は、方谷の二つの顔の基礎の部分には、『四書五経』、特に『孟子』の説く「気を養う」ことがあるのではないかと考えています。

そこで、「気」の側面から、方谷の藩政改革などの業績を見直してはどうか。また、方谷が残した漢詩の中から彼の行動の指針たるべき考え方を探してみたいと思います。

## 加古一朗（かこ いちろう）氏

- 山田方谷は何者か？
- 山田方谷の教育 一方谷が理想とする人間像 一塾規、弟子への手紙から
- 山田方谷に関わる人々  
春日潜庵・佐久間象山・河井継之助・大久保利通など
- 山田方谷の「武」
- 明治時代の方谷像 一『方谷遺稿』『方谷先生年譜』『哲人山田方谷』以外にも記述された明治期のいろいろな著作から方谷像を垣間見る。